

●第2章 導入施設規模の検討●

2-1 前提条件の整理

(1) 町の活動人口目標の設定

本町の経済活動を支えているのは、定住人口だけではなく、通勤・通学で日常的に本町に流入している人口と、観光目的で訪れる人口も含まれる。そのため、それらを考慮した活動人口の目標を設定する。

①「活動人口」の定義と現状

○活動人口及び交流人口を、

$$\text{活動人口} = \text{定住人口} + \text{交流人口}$$
$$\text{交流人口} = \text{通勤・通学流入人口} + \text{1日当たり観光入込客数}$$

と定義する。

○本町の定住人口は、平成 27 年 10 月 1 日時点で 17,388 人である。

○本町の交流人口は、現時点で 4,214 人である。(3,252 人+962 人=4,214 人)

・通勤・通学流入人口：3,252 人（平成 22 年国勢調査）

・1日当たり観光入込客数：962 人

(平成 26 年までの 5 年間平均 351,176 人/年÷365 日=962 人/日)

○本町の活動人口は、現時点で約 22,000 人となる。(17,388 人+4,214 人=21,602 人)

②「活動人口」の目標設定

○新富町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの推計人口は、平成 32 年時点で現状より 434 人減少して 16,954 人とされている。

○地域活性化拠点の整備等の波及効果により、定住人口や観光客数を増加させることにより、活動人口 22,000 人を将来も維持することを目標とする。

(2) 町の観光入込客数の目標設定

活動人口 22,000 人を前提として、観光入込客数の目標を設定する。

①「定住人口」の目標設定

○新富町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンにおける、平成 32 年時点での定住人口は 17,286 人を目標としている。

○定住人口目標：17,300 人

②「交流人口」の目標設定

○「活動人口」および「定住人口」の目標から、「交流人口」目標は 4,700 人となる。

(22,000 人-17,300 人=4,700 人)

③観光入込客数の目標設定

- 通勤・通学流入人口である約 3,250 人を現状維持するものとする。
- その場合、観光入込客の目標値は 1 日当たり 1,450 人となる。
(4,700 人－3,250 人＝1,450 人)
- 年間の観光入込客の目標は、約 53 万人となる。(1,450 人×365 日＝529,250 人)
平成 25 年の観光入込客数である約 32 万人から、約 20 万人増加することとなる。

(3) 導入施設規模検討を行う対象施設

①温泉健康センター

健康増進機能の充実による町民利用の促進、各導入施設との連携による観光客利用の増進を図ることのできる施設とする。

【温泉健康センターの整備が基地及び自衛隊員等との交流に資する効果】

- ・温泉と町内スポーツ施設を活用したスポーツ合宿による交流促進
- ・温泉やフィットネススパ・トレーニングルーム等の健康増進施設を介した自衛隊員と地域住民との交流促進
- ・滞在型航空祭事業（航空祭の前後に温泉健康センターを活用した宿泊滞在イベント）等

②交流センター

地域活性化拠点が町内外の観光周遊拠点となるため、町内の観光情報や地域情報を発信するとともに、まちづくり団体等の会議・研修施設を集約し、「地方創生」を展開する中核施設とする。

【交流センターの整備が基地及び自衛隊員等との交流に資する効果】

- ・航空自衛隊関連の様々な情報をワンストップで発信
- ・航空自衛隊の様々な関連イベントやソフト事業を企画・運営（文化祭、音楽祭 等）
- ・基地支援団体等との交流機会の提供 等

③航空資料館

新田原基地の歴史や役割等の情報発信、基地が有する航空機や資料の展示等により、地域住民に自衛隊への理解と周知を図るとともに、本町でしか体験できない航空系ミュージアムとして観光客の誘致を図る施設とする。

【航空資料館の整備が基地及び自衛隊員等との交流に資する効果】

- ・航空自衛隊の活動PRを通じた、町内外の来訪者と自衛隊員の交流促進
- ・訓練飛行解説事業（自衛隊OB等航空機に精通した者が航空機の飛行解説を行う）
- ・児童・生徒の航空に関する学習交流活動促進
- ・映画やテレビドラマ等のロケーション撮影場所の提供による基地PR活動 等

④緑地広場

イベント空間や多用途的に利用できるオープンスペース、町内産の花卉をアピールできる修景庭園などの施設とする。（大規模災害時には後述のフットボールセンターと併せて仮設住宅

を建設できる。)

【緑地広場の整備が基地及び自衛隊員等との交流に資する効果】

- ・航空祭のサブ会場として活用することにより、交流集客効果を基地外にも波及
(緑地広場における防災関係装備品の展示、基地音楽部や太鼓部の演奏会 等)
- ・緑地広場を活用した自衛隊員と地域住民との交流イベント事業
(盆踊り、婚活イベント、健康・体力づくりイベント 等)
- ・展示機への搭乗体験事業(屋外に展示されている航空機に体験搭乗)
- ・映画やテレビドラマ等のロケーション撮影場所の提供による基地PR活動 等

⑤駐車場 等

・駐車場

国道10号からの立ち寄り利用や、各導入施設の利用を想定した駐車場とする。

- ・トイレ：国道10号からの立ち寄り利用のための公衆トイレとして整備する。
- ・サイクルエイドステーション：町内をレンタサイクルで周遊する観光客のための駐輪場として整備する。また、パンク修理や安全点検等のメンテナンス機能も備えた施設とする。
- ・EV充電ステーション：電気自動車で町内外を周遊する観光客の利便性を向上するとともに、充電中の施設立ち寄り利用を促進する目的で設置を行う。

⑥町産品加工販売所

本町の農畜産物等を加工・販売し、観光客や地域住民に利用される施設とする。

【町産品加工販売所の整備が基地及び自衛隊員等との交流に資する効果】

- ・町の農畜産物と自衛隊が共同開発した加工食品等の提供によるリピーターの増加促進
- ・加工販売所の食材を活用したバーベキューイベント等による自衛隊員等と地域住民との交流

⑦宿泊研修所

町内観光資源の魅力づくりや宿泊滞在プログラム開発によって増加する宿泊需要に対応し、スポーツ合宿や基地体験の宿泊学習等にも利用できる施設とする。

⑧レストラン

本町の農畜産物等を活用した食事の提供を行う施設とする。

⑨フットボールセンター 等

・サッカーコート 等

サッカーの公式戦や合宿利用が可能な施設とするが、大規模災害時には前述の緑地広場と併せて仮設住宅を建設できる用地が確保できる施設とする。

- ・クラブハウス：フットボールセンターを利用するサッカー関係者の利便施設とする。

【取組み補助事業等の分類】

施設名称及び導入機能			内 容	取組み補助事業等
地域活性化拠点	交流促進館	温泉健康 センター機能	温泉健康 センター	まちづくり支援事業(防衛省)
		交流センター機能	交流センター	
		航空資料館機能	航空資料館	
		緑地広場機能	緑地広場	
		周遊拠点機能	駐車場 等	
			駐車場	
			トイレ	
		町産品販売所 機能	町産品加工 販売所	
	スポーツ公園	宿泊研修所機能	宿泊研修所	町単独事業又は民間活力による事業
		レストラン機能	レストラン	
	スポーツ公園	フットボール センター機能	フットボール センター 等	民生安定施設整備事業 (防衛省)
			フットボール センター	
			クラブハウス	

2-2 各導入施設の規模設定

(1) 温泉健康センター

①温泉健康センター利用者数の目標設定

○サン・ルピナスの利用者数は平成 25 年で 12.2 万人であるが、平成 21 年から 2.6 万人・17.7%減少している。

町内利用者は 12.0 万人→10.1 万人（1.9 万人・16.2%減少）、町外利用者は 2.8 万人→2.1 万人（0.7 万人・24.2%減少）と、率にすれば町外利用者の減少傾向が強く、周辺市町の温浴施設に流出しているものと推測される。

○利用者数＝利用回数とすると、新富町民は人口あたり年間 5.65 回（平成 25 年）利用していることになるが、平成 21 年は年間 6.64 回であったため、約 1 回頻度が減少していることになる。

○一方、町外の利用圏域を隣接市町（西都市、高鍋町、宮崎市の旧佐土原町）と想定すると、人口あたり年間 0.25 回（平成 25 年）利用していることになるが、平成 21 年は年間 0.32 回であったため、町内と同様に頻度は減少している。

○町内外の住民の利用頻度を向上させるとともに、観光やスポーツ合宿等で来町する人の利用増も含めて目標設定を行うものとする。

町内利用者数：17,835 人（H25 時点人口）×7 回（現状の 2 割増、H21 の頻度+α）
＝124,845 人

町外利用者数：86,072 人（H25 時点人口）×0.5 回（現状の 2 倍）
＝43,036 人

目標利用者数：（124,845 人＋43,036 人）×1.5（観光客等の利用増）
＝251,822 人 → 約 25 万人（現状の約 2 倍の目標値）

サン・ルピナス利用者状況（単位：人）

		H21	H22	H23	H24	H25
町内	利用者	120,150	112,352	108,976	104,684	100,729
	人口	18,085	18,092	17,931	17,856	17,835
	人口当たり利用者	6.64	6.21	6.08	5.86	5.65
町外	利用者	28,139	25,286	21,840	22,958	21,325
	人口	87,842	87,288	86,888	86,579	86,072
	人口当たり利用者	0.32	0.29	0.25	0.27	0.25
合 計		148,289	137,638	130,816	127,642	122,054

資料：町資料及び宮崎県統計書

町外の人口：隣接する西都市、高鍋町、宮崎市・旧佐土原町の合計（旧佐土原町の人口のみ H22 国勢調査の人口 32,941 人を毎年使用した）

②温泉健康センターの規模設定

○目標利用者数 25 万人による施設規模を、類似の事例をもとに算定する。

○年間利用者数と温浴施設面積の相関関係を、線形の近似回帰式で分析すると、以下の式となった。

$$Y = 97.113X + 46336 \quad (Y : \text{利用者数}, X : \text{温浴施設面積})$$

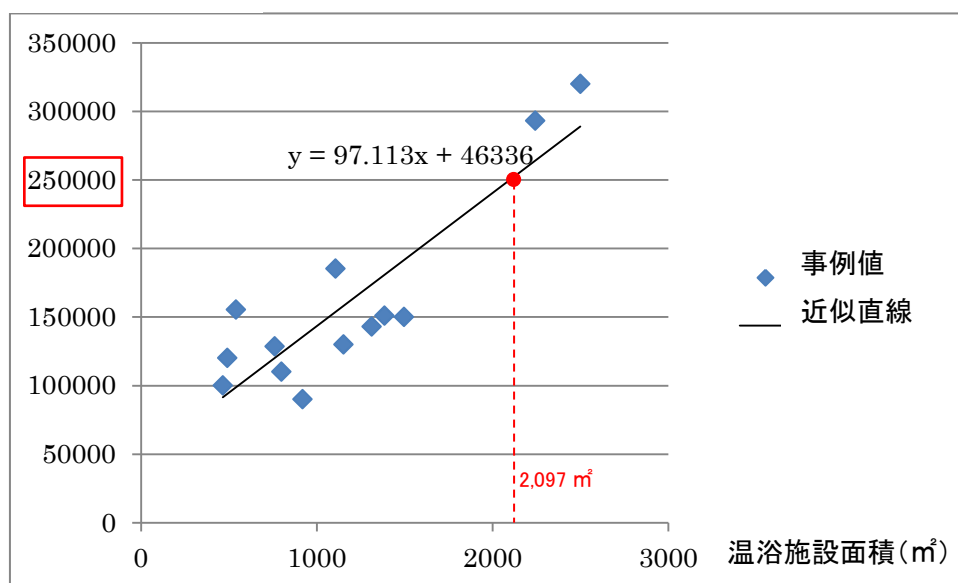
○ $Y = 25$ 万人の場合、 $X = 2,097 \text{ m}^2$

→約 2,000 m^2 と設定する。

- 延床面積 : 2,000 m^2
- 建築面積 : 2,000 m^2 (1 層と設定)
- 敷地面積 : 5,000 m^2 (建蔽率 40%と設定)

〔参考：ア）～ス）の事例散布図と近似直線〕

利用者数(人/年)



サン・ルピナス及び温浴施設事例の年間利用者数と延床面積

温浴施設名称	年間利用者数	温浴施設延床面積
ア)サン・ルピナス (新富町)	120,000 人 (H24～H26 の平均)	491 m ² (物販・飲食を含む)
イ)高鍋温泉「めいりんの湯」 (高鍋町)	155,400 人 (H24～H26 の平均)	540 m ²
ウ)木城温泉館「湯らら」 (木城町)	143,000 人 (H25～H26 の平均、物販含む)	1,312 m ²
エ)高岡温泉「やすらぎの郷」 (宮崎市)	150,800 人 (H24～H26 の平均)	1,386 m ²
オ)石崎の杜「鯨鯨館」 (宮崎市)	128,400 人 (H24～H26 の平均)	760 m ² (平面図から計測)
カ)富士眺望の湯ゆらり (山梨県鳴沢村)	320,000 人	2,499 m ²
キ)赤村ふるさとセンター (福岡県赤村)	293,000 人	2,243 m ²
ク)山中湖平野温泉「石割の湯」 (山梨県山中湖村)	185,165 人	1,107 m ²
ケ)かんなべ湯の森ゆとろぎ (兵庫県日高町)	150,000 人	1,497 m ²
コ)丹波山温泉のめこい湯 (山梨県丹波山村)	130,000 人	1,153 m ² (レストラン、図書室等除く)
サ)能都町縄文真脇温泉 (石川県能都町)	110,000 人	799 m ² (レストラン等除く)
シ)湯々庵 枇杷の湯 (長野県松本市)	100,000 人	465 m ² (浴室棟のみ)
ス)天龍温泉おきよめの湯 (長野県天龍村)	90,000 人	920 m ² (食堂、郷土芸能関係室等除く)

資料：ア)～オ)は町資料、カ)～ス)は「建築設計資料 温泉・クアハウス2 (建築資料研究社)」

【災害発生時等の施設利用】

- ・大規模災害発生時の入浴支援施設及び一時避難施設（休憩室利用、入浴利用 等）
- ・基地を含めた防災訓練時の入浴支援訓練 等

(2) 宿泊研修所

①町内宿泊観光の状況

○町内の宿泊客数は1万人前後で、総入込み客数に対する割合は2～3%台となっている。

○総入込み客数に対する割合は、隣接する西都市で2.5%（平成25年、宿泊者数27,468人、総入込み客数1,098,677人）、宮崎市で39.0%（平成25年、宿泊者数2,277,000人、総入込み客数5,845,000人）となっており、町周辺の観光地において宮崎市に大部分が宿泊していることがわかる。

新富町の宿泊客数（単位：人）

	H21	H22	H23	H24	H25
宿泊客数	11,201	12,677	12,321	9,927	11,238
総入込み客数	304,701	359,914	341,605	366,203	316,069
宿泊客数の総入込み客数 に対する割合	3.7%	3.5%	3.6%	2.7%	3.6%
（参考：西都市）	—%	—%	—%	2.4%	2.5%
（参考：宮崎市）	38.9%	46.8%	46.9%	49.4%	39.0%

資料：町資料及び宮崎県統計書

○現在の町内宿泊施設は、Hotel A Z 宮崎新富店と民宿初音の2ヶ所であり、合計の収容人数は約125人である。

○定員稼働率（1日平均利用者数の定員に対する割合）は、Hotel A Z 宮崎新富店で45.1%、民宿初音で6.6%となっている。

宮崎県内の宿泊施設における定員稼働率は、ビジネスホテルで58.0%、旅館で26.2%となっており、町内の宿泊施設の定員稼働率は比較的低い水準にあるといえる。

町内宿泊施設の利用状況

施設名	収容人数	利用者数（平成26年）			定員稼働率
		県内客	県外客	合計	
Hotel A Z 宮崎新富店	約55人	850人	8,209人	9,059人	45.1%
民宿初音	70人	844人	853人	1,697人	6.6%
合 計	約125人	1,694人	9,062人	10,756人	平均23.6%

※定員稼働率：利用者数÷収容人数÷365日

資料：町資料

宮崎県の宿泊施設における定員稼働率

宿泊施設タイプ	定員稼働率
旅館	26.2%
リゾートホテル	33.2%
ビジネスホテル	58.0%
シティホテル	50.4%

資料：宿泊旅行統計調査（平成26年、観光庁）

【Hotel A Z 宮崎新富店】（富田 2-3-3）

・施設概要

シングル 37 室、ツイン 3 室、二段ベッドルーム 7 室

駐車場（30 台）、レストラン併設

・宿泊料金

シングルルーム 1 泊 1 名（朝食無料）4,800 円

ツインルーム 1 泊 1 名（朝食無料）4,000 円（2 名利用の場合）

二段ベッドルーム 1 泊 1 名（朝食無料）3,500 円（2 名利用の場合）



【民宿初音】（日置 964-20）

・宿泊料金

宿泊プラン：1 泊 2 食付 5,500 円（素泊まり 3,500 円～）

スポーツ合宿：1 泊 2 食付、高校生以上 5,000 円、中学生 4,500 円、小学生 4,000 円

サーフィンプラン：素泊まり 3,000 円～



○また、富田浜において、漕艇庫及び合宿所（富田浜スポーツ交流センター）が整備されている。

・概要

延床面積：380 m²

1 階諸室：漕艇庫（レガッタ収納庫）207 m²

合宿所（男女シャワー室・トイレ）61 m²

2 階諸室：研修室 1・3（大部屋）約 19 帖

研修室 2（個室）約 7.4 帖

ミーティングルーム兼食堂 約 17.3 帖

H 2 8. 4 月運用開始



②宿泊研修所の利用者数と定員の目標設定

ア) 年間宿泊客数の設定

○総入込客数に対する宿泊客数の割合は現状で2～3%台であるが、宿泊滞在プログラムの開発や町内資源の魅力づくり等により、これを約5%まで向上させるものとする。

・年間宿泊客数：26,500人（年間観光客数53万人×目標宿泊率5%）

イ) 宿泊研修所の収容人数の設定

○現状及び計画中の施設による宿泊客数

- ・Hotel A Z 宮崎新富店：

$$\begin{aligned} & \text{定員 } 55 \text{ 人} \times \text{定員稼働率 } 50\% \text{ (現況 } 45.1\% \text{ から向上すると設定)} \times 365 \text{ 日} \\ & = 10,040 \text{ 人} \end{aligned}$$

- ・民宿初音：

$$\begin{aligned} & \text{定員 } 70 \text{ 人} \times \text{定員稼働率 } 10\% \text{ (現況 } 6.6\% \text{ から向上すると設定)} \times 365 \text{ 日} \\ & = 2,560 \text{ 人} \end{aligned}$$

- ・富田浜漕艇庫及び合宿所：

$$\text{定員 } 24 \text{ 人} \times \text{定員稼働率 } 10\% \text{ (初音と同等と設定)} \times 365 \text{ 日} = 880 \text{ 人}$$

$$\therefore \text{合計 } 13,480 \text{ 人}$$

○不足する宿泊施設の年間収容人数

- ・年間 約 13,000 人 (26,500 人 - 13,480 人 = 13,020 人)

○ホテルタイプの宿泊研修所を想定した定員設定

- ・13,000 人 $\div$ 365 日 $\div$ 58% (宮崎県ビジネスホテルの定員稼働率) = 61 人
→定員 60 人と設定。

ウ) 宿泊研修所の規模設定

- シングル洋室を 18 人分、ファミリー対応のダブル・ツイン洋室を 18 人分、ファミリー・合宿対応タイプの和室を 24 人分 (富田浜スポーツ交流センターと同規模) とする。

- 客室面積：シングル洋室 20 m²/室 $\times$ 18 室 + ダブル・ツイン洋室 40 m²/室 $\times$ 9 室
+ 和室 3.3 m²/人 (約 2 帖に 1 人) $\times$ 24 人 = 800 m²

$$800 \text{ m}^2 \div 50\% \text{ (客室面積率)} = 1,600 \text{ m}^2 \text{ と設定する。}$$

- 延床面積：1,600 m²
- 建築面積：950 m² (1 階面積がやや大きい 2 層と設定)
- 敷地面積：2,400 m² (建蔽率 40%と設定)

【災害発生時等の施設利用】

- ・大規模災害発生時の宿泊施設利用 等

(3) 交流センター

○観光資源情報コーナー、周辺観光地案内施設、会議・研修施設を一体化し、下記の機能を加えて、「地方創生」を展開する中核施設を形成する。

◇イベントの企画・運営

◇団体交流・団体育成の企画・運営

◇景観維持・自然保護

○事例は延床面積 約 500～1,500 m²程度のものがある。

○オフィス平均 50 m²×4 室、会議・研修室 100 m²、情報・展示コーナー100 m²、
共通空間 100 m²（全体の 20%）の合計、500 m²として設定する。

- 延床面積：500 m²
- 建築面積：500 m²（1 層と設定）
- 敷地面積：1,200 m²（建蔽率 40%と設定）

【事例① 延岡市民協働まちづくりセンター（延岡市）】

- ・施設概要：市民活動フロア(団体事務局室)、市ボランティア協会事務局、センター事務局、多目的フロア、交流フロア、作業コーナー、図書コーナー、ミーティングフロア、シャワー室、給湯室、各種会議室 等
- ・施設規模：延床面積 1,159 m²

【事例② 太子町まちづくり観光交流センター（大阪府太子町）】

- ・施設概要：研修室、会議室、調理室
- ・施設規模：延床面積 655 m²（R C 造 2 階建）

【事例③ 多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」（佐賀県多久市）】

- ・施設概要：会議室、図書ラウンジコーナー、ふれあいコーナー、キッズコーナー、スポーツコーナー、多久市ふるさとハローワーク、カフェスペース、店舗（雑貨店、高齢者福祉相談など）
- ・施設規模：延床面積 1,599 m²（R C 造 2 階建）、敷地面積 3,562 m²、駐車場 17 台

【事例④ 宇都宮市まちづくりセンター「まちぴあ」（栃木県宇都宮市）】

- ・施設概要：ミーティングルーム、貸しオフィス、研修室、情報展示コーナーなど
- ・施設規模：延床面積 543 m²（R C 造 2 階建）、敷地面積 1,875 m²

(4) 航空資料館

○航空宇宙系ミュージアム等の全国事例のうち、延床面積・展示面積・来館者数が判明しているものは以下の通りであるが、立地条件や展示内容はそれぞれであるため、施設規模には大きな幅がある。

○延床面積当たりの来館者数は 10.1～206.7 人/㎡ と幅があるが、単純平均値は 67.6 人/㎡である。

○展示面積当たりの来館者数は 16.9～299.5 人/㎡ と幅があるが、単純平均値は 116.6 人/㎡である。

○延床面積当たりの展示面積割合は、極端な事例を除いて 51.9～76.3%と幅があるが、平均値は 59.9%である。

全国の航空宇宙系ミュージアム等の関連施設事例

施設名	①延床面積 (㎡)	②展示面積 (㎡)	③H25 来館者数 (万人)	延床面積当 たり来館者数 (③÷①) (人/㎡)	展示面積当 たり来館者数 (③÷②) (人/㎡)	延床面積当 たり展示面積割 合(②÷①) (%)
青森県三沢航空科学館	10,841	6,512	11.0	10.1	16.9	60.0
エアパーク (浜松広報館)	16,900	12,900	41.1※1	24.3	31.9	76.3
石川県航空プラザ (小松市)	6,018	-	-	-	-	-
かがみがはら航空宇宙 科学博物館	8,476	4,950	12.3	14.5	24.8	58.4
佐世保史料館 「セイルタワー」	4,464	-	8.2	18.4	-	-
呉史料館 「てつのくじら館」	3,400	-	30.0	88.2	-	-
呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム)	9,628	3,174	90.9	94.4	286.4	33.0
鹿屋航空基地史料館	2,500	2,500	7.1※2	28.4	28.4	100.0
JAXA 筑波宇宙センター	1,500	1,500	31.0	206.7	206.7	100.0
所沢航空発祥記念館	5,261	2,732	35.4	67.3	129.6	51.9
千葉県航空科学博物館	3,750	2,150	22.0	58.7	102.3	57.0
知覧特攻平和会館	3,200	1,900	56.9	177.8	299.5	59.4
JAXA 種子島宇宙センター	2,255	1,268	5.0	22.2	39.4	56.2
平 均	6,010	3,960	29.2	67.6	116.6	59.9 ※3

※1 : H25・26 平均

※2 : H25・26 平均

※3 呉市海事歴史科学館、鹿屋航空基地史料館、JAXA 筑波宇宙センターを除いた平均値

○前述の、新たに増えると設定した観光入込客 20 万人が、一度はこの施設を訪れると想定する。

○延床面積当たりの来館者数から算定：

平均値 67.6 人/㎡ から算定すれば、必要延床面積は 2,958 ㎡となる。

(20 万人÷67.6 人/㎡=2,958 ㎡)

○展示面積当たりの来館者数から算定：

平均値 116.6 人/㎡から算定すれば、必要展示面積は 1,715 ㎡となる。

(20 万人÷116.6 人/㎡=1,715 ㎡)

その場合の延床面積は、延床面積当たりの展示面積割合を平均値の 59.9%とすれば、

2,863 ㎡となる。(1,715 ㎡÷59.9%=2,863 ㎡)

○上記の平均値は、約 2,900 ㎡となる。((2,958 ㎡+2,863 ㎡) ÷2=2910 ㎡)

●延床面積：2,900 ㎡

●建築面積：1,900 ㎡（吹き抜けの展示空間がある 2 層と設定）

●敷地面積：4,800 ㎡（建蔽率 40%と設定）

(5) 緑地広場

以下の用途に利用できるオープンスペースとする。

- ◇「お祭り広場」やフリーマーケットなどイベント空間・ドッグラン等として活用
- ◇スポーツ合宿に利用できる芝生広場として活用
- ◇ルピナスの他、町内産の花卉を活用したガーデン
- ◇災害時の仮設住宅建設用地として確保

災害時の仮設住宅 530 戸の建設に必要な用地 66,000 m²を確保することを目的とし、後述のフットボールセンター40,000 m²と併せて、緑地広場としては残り 26,000 m²と設定する。

●敷地面積： 約 26,000 m²

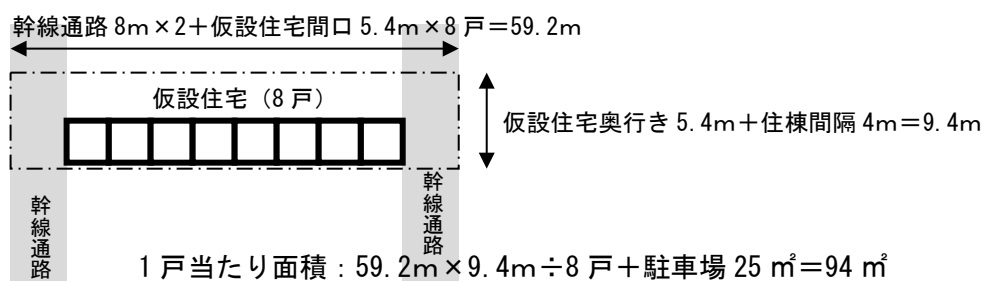
【災害時の仮設住宅建設に必要な用地面積】

○必要戸数の設定

- ・応急仮設住宅建設候補地台帳（町資料）より、現在（予定含む）確保できる戸数 842 戸に対して、建設必要戸数は 920 戸 →約 80 戸不足している
- ・台帳番号 12～15 の広場等で建設可能な仮設住宅は、地域活性化拠点が形成されれば機能移転するものとする。 →台帳番号 12～15 で建設が可能な戸数は約 450 戸
- ・上記より、約 530 戸（80 戸＋450 戸）の応急仮設住宅を地域活性化拠点で確保するものとする。

○必要規模の設定

- ・計画する仮設住宅の大きさは 2DK（5.4m×5.4m）、標準は 8 戸連（2 戸連以上 10 戸連以下）とする。
- ・住棟間隔は 4mとし、幹線通路幅は 8mとする。
- ・駐車場は、敷地内に 1 戸につき 1 台（25 m²/戸）が確保できるよう、主要出入口付近にスペースを設ける。
- ・1 戸あたり必要面積の設定



・530 戸の必要規模

$94 \text{ m}^2/\text{戸} \times 530 \text{ 戸} \div 3/4$ （既存建物や工作物、ヘリポートなど仮設住宅敷地として 1/4 は使えない部分とした設定値） = 66,400 m² → 66,000 m²

【災害発生時等の広場利用】

- ・大規模災害発生時の救助支援者（自衛隊・警察・消防・ボランティア等）の活動拠点
- ・大規模災害発生時の避難拠点としての利用 等

（６）駐車場

駐車場の台数については、国道 10 号からの立ち寄り利用を想定し、道路休憩施設（サービスエリアや道の駅など）の考え方で台数を設定する。

○平成 22 年度道路交通センサスによる国道 10 号の 24 時間交通量

22,267 台（小型車 19,789 台、大型車 2,478 台）

○サービスエリアの使用係数

※「道路設計要領 計画編（建設省中部地方建設局監修、2000 年）」における「一般道路の休憩施設計画の手引き（案）」（以下「手引き」と表記）

車 種	立寄率	ラッシュ率	占有率
小 型 車	0.012	0.1	0.42
大 型 車	0.008	0.075	0.50

○対象区間延長

都農町（道の駅つの）～宮崎市（一ツ葉有料道路入口）33.5km

○必要駐車台数

対象区間延長×計画交通量×立寄率×ラッシュ率×駐車場占有率

◇小型車：33.5km×19,789 台×0.012×0.1×0.42＝334 台

◇大型車：33.5km×2,478 台×0.008×0.075×0.5＝25 台

※計画交通量は現況値を使用

○身体障がい者用駐車台数

総駐車場数が 200 台を超える場合、総駐車場数×1/100+2 以上

（334 台+25 台）×1/100+2＝6 台

※「道路の移動円滑化整備ガイドライン」による設置基準

○必要駐車場面積

◇小型車・身障者用：（334 台+6 台）×33 m²/台 ＝11,220 m²

◇大型車：25 台×140 m²/台 ＝3,500 m²

∴合計 14,720 m² → 約 15,000 m²と設定する。

●敷地面積： 15,000 m²

(7) トイレ

○国道 10 号からの立ち寄り利用による駐車台数（小型車、大型車、身体障がい者用、合計 365 台）を対象に、公衆トイレ規模を設定する。

○「手引き」による公衆トイレの規模

駐車ます 50 台当たりの便器数：男（小）4 器・男（大）2 器・女 6 器

→365 台当たりの便器数：男（小）29 器・男（大）15 器・女 44 器

身障者用トイレ：(29 器+15 器+44 器) ×1/50=2 器

→地域活性化拠点は複合施設であるため、航空資料館、温泉健康センター、レストラン等でもトイレを整備することになる。駐車場に近接したトイレとしては、必要量の 1/2 を確保するものとする。

→設定便器数：男（小）15 器・男（大）7 器・女 22 器

身障者用トイレ：(15 器+7 器+22 器) ×1/50=1 器

設定面積

区 分		必要便器数	必要原単位	面 積
男性用	小	15 器	3.0 m ² /器	45 m ²
	大	7 器	5.4 m ² /器	38 m ²
	洗面所	6 器	3.0 m ² /器	18 m ²
身障者用		1 器	10.8 m ² /器	11 m ²
女性用		22 器	5.4 m ² /器	119 m ²
	洗面所	11 器	3.0 m ² /器	33 m ²
倉庫		2 ケ所	4 m ² /ケ所	8 m ²
合計				272 m ²

→ 約 300 m² と設定する。

- 延床面積：300 m²
- 建築面積：300 m²（1 層と設定）
- 敷地面積：750 m²（建蔽率 40%と設定）

(8) サイクルエイドステーション

○町全体の年間観光客 53 万人の場合の自転車利用者数を試算。

・ピーク日の観光客数：53 万人×1/60（4 季型施設の最大日率）=8,800 人/日

・ピーク日の同時滞在観光客数：8,800 人/日÷2 回転（3～4 時間滞在すると設定）
=4,400 人

・観光客のうち 50%が拠点施設を訪れ、うち 1%がレンタサイクルで町内を周遊するとすれば、必要自転車台数は 22 台となる。（4,400 人×50%×1%）

○自転車 1 台当たり面積：約 3 m²（幅 0.6m×（駐輪スペース 1.9m+通路 3m））

∴22 台では約 70 m²が必要となる。

●敷地面積：70 m²（駐車場内に配置）

（９）EV 充電ステーション

- 電気自動車で周遊する観光客の利便性を向上するとともに、充電中の施設立ち寄り利用を促進する目的で充電ステーションを設置する。
- 新富町内の充電ステーションは、現時点でファミリーマート新富店（充電有料）や一ツ瀬川県民スポーツセンター・一ツ瀬川県民ゴルフ場（ゴルフ場利用者のみ充電無料）が設置されている。

新富町及び近隣市町の充電ステーション設置状況

市町名称	設置状況
新富町	ファミリーマート新富店、一ツ瀬川県民ゴルフ場の 2 ヶ所
川南町	(有)安藤自動車整備工場 ENEOS 川南塩付 SS の 1 ヶ所
都農町	道の駅つの 等の 2 ヶ所
高鍋町	宮崎銀行高鍋支店 等の 7 ヶ所
西都市	ホテル プリムローズ西都 等の 7 ヶ所
宮崎市	宮崎日産自動車(株) 佐土原店 等の 49 ヶ所

資料：(株)ゴーゴーラボのHP

- モデル的に 1 台分の充電ステーション（普通車 1 台分、30 m²程度のスペース）を設置する。

●敷地面積：30 m²（駐車場内に配置）

(10) 町産品加工販売所

○売店等の面積事例では、200 m²前後のものが多くなっている。(平均 294 m²)

施設名称	施設面積 (m ²)
J A児湯 農畜産物直売所	210
高鍋温泉「めいりんの湯」物販施設	550
木城温泉館「湯らら」物販施設	190
道の駅「つの」物販施設	224

○九州地方における農産物直売施設の売場面積：平均 143.1 m²

バックヤードやトイレ等を考慮した売場効率を 70% とすると、延床面積は 204 m² (143.1 m² ÷ 70%) となる。

九州地方における農産物直売施設の売場面積

運営主体	売場面積 (m ²)
地方公共団体	229.6
第3セクター	242.6
農業協同組合	176.6
農業協同組合(女性部・青年部)	183.2
生産者または生産者グループ	82.3
その他	193.5
九州地方全体 平均	143.1

※「農産物地産地消等実態調査」(平成 21 年、農林水産省)

○「設計要領」(東日本高速道路株式会社 設計要領(第六集 建築施設編))によるサービスエリアの基準では、365 台の駐車場規模に該当するハイウェイショップ面積は、290 m²程度。

ハイウェイショップの整備基準

駐車台数(台)	ハイウェイショップ面積(m ²)
300	255
250	230
200	200
150	170
100 以下	160

→300 m² と設定する。

- 延床面積：300 m²
- 建築面積：300 m² (1 層と設定)
- 敷地面積：750 m² (建蔽率 40%と設定)

【災害発生時等の施設利用】

- ・加工所を活用した、炊き出し等の被災者支援活動 等

(11) レストラン

○小型車 340 台（身体障がい者用含む）・大型車（バス）25 台の規模で必要な飲食施設の規模を「設計要領」（東日本高速道路株式会社 設計要領（第六集 建築施設編））等に基づき算定すると、下表の通り 888 m²となる。

○必要席数 185 席のうち、1/4 の 50 席を立地環境を活かしたオープンスペースで確保するものとし、延床面積を再計算すると、約 700 m²となる。

①飲食施設客席面積：(185 席－50 席) × 1.6 m²/席 = 216 m²

②厨房面積：118 m² (185 席分を確保)

③附属施設面積：客席面積 216 m² × 1.6 = 346 m²

∴合計 680 m² → 700 m² と設定する。

- 延床面積：700 m²
- 建築面積：700 m² (1 層と設定)
- 敷地面積：1,800 m² (建蔽率 40%と設定)

飲食施設の規模算定

項 目	記 号	算出結果	
		小型車	大型車（バス）
駐車まず数（台）	P	340	25
駐車回転率（台/h）	r	2.4	3.0
車種別駐車台数（台/h）	$P_a = P \times r$	816	75
車種別乗車人員（人/台）	W	1.35	15.04
立寄り人数（人）	$N = P_a \times W$	1,101.6	1,128
飲食施設利用率（%）	u	30	10
飲食施設利用人数	$N_L = N \times u$	330	113
		443	
飲食施設回転率（人/h）	C	2.4	
席数（席）	$V = N_L \div C$	138	47
		185	
1 席当たり面積（m ² /席）	M	1.6	
①飲食施設客席面積（m ² ）	$L_S = V \times M$	221	75
		296	
②厨房面積（m ² ）	$0.4 \times L_S$	88	30
		118	
③附属施設面積（m ² ）	$1.6 \times L_S$	354	120
		474	
飲食施設総面積（m ² ）	①＋②＋③	888	

【災害発生時等の施設利用】

・厨房を活用した、炊き出し等の被災者支援活動 等

(12) フットボールセンター

○「都道府県フットボールセンター整備助成事業」(日本サッカー協会)の対象要件

サッカーの公式戦が開催できる広さ(105m×68m)を確保できる面積を有する人工芝もしくは天然芝のグラウンド

○サッカーグラウンドの規模設定

メイングラウンド：2面(105m×68mのピッチ周囲に10m幅の余裕を確保)

$$(105\text{m}+10\text{m}\times 2)\times (68\text{m}+10\text{m}\times 2)=11,000\text{ m}^2/\text{面}$$

$$11,000\text{ m}^2/\text{面}\times 2\text{面}=22,000\text{ m}^2$$

○駐車場の規模設定

前述の通り、フットボールセンターは緑地広場と合わせ、災害仮設住宅530戸が建設可能な66,000 m²を確保することになるが、平常時において公園的利用を行う際の必要駐車台数を算定する。

・66,000 m²を公園として利用する際の休日1日の利用者数

$$66,000\text{ m}^2\times 426\text{人/ha}(\text{休日1日のha当たり入園者数※})=\text{約}2,800\text{人}$$

・自動車による休日1日の入園者数

$$2,800\text{人}\times 92.5\%(\text{バス等以外の交通手段による利用率※})=\text{約}2,600\text{人}$$

・休日1日の自動車台数

$$2,600\text{人}\div 1.5\text{人/台}(\text{地域性を考慮した設定値})=\text{約}1,730\text{台}$$

・同時駐車台数

$$1,730\text{台}\div 8\text{時間}(\text{滞在時間})\times 1.03\text{時間}(\text{平均在園時間※})=\text{約}220\text{台}$$

※「平成19年度都市公園利用実態調査報告書」(国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地課)より

また、サッカーグラウンドを利用する選手の送迎に対応するため、大型車(バス)駐車場を4台と設定する。

$$\diamond\text{小型車 } 220\text{台}\times 33\text{ m}^2/\text{台}=\text{7,260 m}^2$$

$$\diamond\text{大型車 } 4\text{台}\times 140\text{ m}^2/\text{台}=\text{560 m}^2$$

$$\text{小計 } 7,820\text{ m}^2$$

○全体の規模設定

$$\text{必要面積}:[\text{メイングラウンド } 22,000\text{ m}^2+\text{駐車場 } 7,820\text{ m}^2]\div$$

$$[100\%-25\%(\text{緑地 } 10\%、\text{クラブハウスや管理用地 } 15\%\text{と設定})]$$

$$=\text{39,760 m}^2\rightarrow\text{約}40,000\text{ m}^2\text{と設定する。}$$

●敷地面積：40,000 m²

【災害発生時等の施設利用】

- ・大規模災害時の避難拠点としての利用 等

（１３）クラブハウス

- 「都道府県フットボールセンター整備助成事業」（日本サッカー協会）の対象要件における、クラブハウスの内容

事務室、会議室、談話室、更衣室、用具室、シャワー室、医務室、カフェテリア、調理室、トレーナー室、託児室等で構成された、原則として延床面積 250 m²以上のクラブハウス

- 事例としては 310～512 m²のものがあるが、対象要件の施設として、医務室（20 m²）、カフェテリア（調理室含め 50 m²）、トレーナー室（20 m²）、託児室（20 m²）、合計 110 m²を付加し 600 m² 程度の規模と設定する。

- 延床面積：600 m²
- 建築面積：300 m²（2 層と設定）
- 敷地面積：（フットボールセンター敷地内）

【事例① 長崎県フットボールセンター・クラブハウス（長崎県島原市）】

- 施設概要：ミーティングルーム、シャワー室、多目的室（トレーニングマシン有り）、会議室、事務室
- 施設規模：延床面積 512 m²（木造・一部鉄骨造 2 階建）

【事例② 岩手県フットボールセンター（岩手県紫波町）】

- 施設概要：ロッカールーム、会議室、応接兼審判控室、事務室
- 施設規模：延床面積 310 m²（2 階建）

【事例③ 埼玉県上尾市立 上平公園クラブハウス】

- 施設概要：事務室、会議室、談話コーナー、休憩室、更衣室、シャワー室、倉庫、物品庫、ロッカー室
- 施設規模：延床面積 490 m²（2 階建）

規模設定一覧表

施設名称		想定規模		備 考
交流促進館	温泉健康センター	延床面積 建築面積 敷地面積	2,000 m ² 2,000 m ² (1 層) 5,000 m ²	年間目標利用者数 25 万人(現状 12 万人)を想定。 類似例より延床面積を設定。
	交流センター	延床面積 建築面積 敷地面積	500 m ² 500 m ² (1 層) 1,200 m ²	オフィス平均 50 m ² ×4 室、会議・研修室 100 m ² 、情報・展示コーナー 100 m ² 、共通空間 100 m ² (全体の 20%)として 500 m ² を設定。
	航空資料館	延床面積 建築面積 敷地面積	2,900 m ² 1,900 m ² (2 層) 4,800 m ²	年間目標利用者数 20 万人。 類似例より延床面積を設定。
	緑地広場	敷地面積	26,000 m ²	フットボールセンターと併せて仮設住宅 530 戸を建設できる用地を確保。
	駐車場 等	敷地面積	15,750 m ²	国道 10 号からの立ち寄り利用を想定して規模を設定。
	駐車場	敷地面積	15,000 m ²	小型車・身障者用 340 台、大型車 25 台(サイクルエイドステーション敷地面積 70 m ² 及びEV充電ステーション敷地面積 30 m ² を含む)
	トイレ	延床面積 建築面積 敷地面積	300 m ² 300 m ² (1 層) 750 m ²	半数は航空資料館等の施設内トイレを使用するものと想定
	町産品加工販売所	延床面積 建築面積 敷地面積	300 m ² 300 m ² (1 層) 750 m ²	町内外の農産物直売施設の事例等より延床面積を設定。
	宿泊研修所	延床面積 建築面積 敷地面積	1,600 m ² 950 m ² (2 層) 2,400 m ²	年間目標町全体観光入込客 53 万人(現状 32 万人)を想定。 →目標宿泊客数 約 13,000 人 →60 人定員(ファミリー・合宿利用にも対応)を設定。
	レストラン	延床面積 建築面積 敷地面積	700 m ² 700 m ² (1 層) 1,800 m ²	道路休憩施設の設計要領をもとに、駐車場規模から必要とされる席数(185 席)を設定。(50 席はオープンスペース席を想定)
スポーツ公園	フットボールセンター 等	敷地面積	40,000 m ²	
	サッカーコート等	敷地面積	39,250 m ²	サッカーコート 2 面、駐車場等で必要な規模を設定。
	クラブハウス	延床面積 建築面積 敷地面積	600 m ² 300 m ² (2 層) 750 m ²	クラブハウスの事例等により、延床面積を設定。
合 計		延床面積 建築面積 敷地面積 用地面積	8,900 m ² 6,950 m ² 97,700 m ² 約 13ha	敷地面積の他に、歩道・道路・緑地等の共通部分が全体の約 1/4(25%)必要とし、用地面積は 97,700 m ² ÷75%＝約 13ha

